

稲沢市視覚障害者福祉協会 【ご入会を会員みなでお待ちしています！】

「Eyeに愛を！」 目の見えない人、目の見えにくい人、その不自由さの中、共に思いやり、考え、学び、共に生きて行こう

1. **私たちの団体：**稲沢市視覚障害者福祉協会と言い、通称を稲視協と言います。多くのボランティアの皆様に支えられて、令和7年に創立49周年を迎えました。新しい令和7年を迎え、更なる発展を目指しています。

2. **会員の対象：**目に障害のある人達が加入しています。視覚障害により身体障害者手帳の交付を受けている人なら誰でも入会できます。

3. **上部団体：**稲視協では、社会福祉法人の日本視覚障害者福祉連合会（日視連）や愛知県盲人福祉連合会（愛盲連）に加盟しており、それぞれ点字図書館もあり、点字図書や音訳図書の読書に利用しています。又、国や県の視覚障害情報も知ることができ、それに関係機関・施設などの情報を知ることができます。

又、令和6年度のICT勉強会（音声パソコン、スマホ）が、年7回行われています。

4. **支援ボランティア：**私たち視覚障害者は、日常生活では家族の手助けはもちろんのこと、ボランティアグループの皆さん方からの支援なしでは、様々な活動も不自由です。現在、稲視協には点訳（睦美会）・外出ガイド支援（手びきサークル道）・声の広報朗読（やまびこ会）・各種の本や資料音訳（音訳グループせせらぎ）のボランティア4グループの皆さんに、長年ご支援をいただいています。その支援の中には、点訳や音訳のリクエストも受けてもらっています。

5. **主な活動：**稲視協では、視覚障害者の方々の生活向上や交流などを目的に、様々な活動を行っています。活動内容としては、年2回（春と秋）の屋外研修会、年1回の健康体操（6月）を実施しています。体力の維持増進のためにも大いに役立っています。又、料理教室も実施しています。

6. **日常生活用具など：**白杖や義眼などの補装具や、音声時計、録音機、遮光メガネ、音声パソコンのソフトなどの日常生活用具の給付など、その他にも利用できる様々な福祉制度があり、これらの情報を得るために役立っています。

7. **単独白杖歩行訓練の受講：**稲沢市では白杖を使用した安全な単独歩行を目的とした歩行訓練事業が実施されております。この事業では、専門の先生による訓練を受講していただき、これまで行くことが困難であった場所へ安全に行くことが出来るようになります。又、白杖を使って単独で外出することによって、生活も前向きになり、日常生活への自信にもつながり生きる喜びを感じていただけたと思います。今年で9年目を迎え、受講者の皆さんに大変好評です。

※視覚障害があってもまだ未入会の皆さん、不安もあるとは思いますが、一人で悩まず気軽に、当会の活動に参加してみたいはかがですか！

※連絡先：稲視協 会長 坂井 兵吉《さかいひょうきち》

電話：0587-97-4544 携帯 090-1416-3184

Eメール：坂井 兵吉 py343385@wf6.so-net.ne.jp